



とのしょう てしま
香川県 土庄町立豊島中学校

瀬戸内海東部、小豆島の西に浮かぶ、美しく豊かな自然あふれる豊島に、土庄町立豊島中学校はあります。

全校生徒は7名。小規模校であることを生かし、一人ひとりの生徒の能力や個性を伸ばす学習指導や、地域に根ざした教育などにより「豊島を愛し、たくましく生きる力をもった生徒の育成」を目指しています。



勤労生産学習：田植え

2014・2015年度は、香川県金融広報委員会から「金融教育研究校」の委嘱を受け、「確かな金銭感覚を身に付け、主体的に行動しようとする生徒の育成」をテーマに、総合的な学習の時間においてさまざまな金融教育の授業を実践しています。

1年生はフェリーで高松市まで出向き、菓子工房や鉄道会社などで職場見学・インタビューを行い、2年生は土庄町内のスーパーや保育所などで職場体験学習を行い、働くことの意義を学んでいます。また、勤労生産学習では、実習田を借りて米作りを行い、農作業の苦労や収穫の喜びを体験し、食に対する感謝の心を育むとともに、生産者からは、作業指導だけでなく米の販売・流通に関する話も伺っています。

このほかにも、特別活動として、校内文化祭のエコバザーでは、バザー品の値札付け、展示、販売までを生徒が全て行い、収益金の使い道も生徒で相談し、福祉施設に寄付などを行っています。

金融教育の視点を加えた研究校としての学習活動を通して、生徒はこれまで以上に主体的に行動するようになり、自分と社会との関わりを意識し、将来について考えるようになりました。2016年度には小中併設校となるため校舎を移転しますが、これからも地域とともに育つ学校づくりを目指していきます。



豊島中学校



豊島中ソーラン